

【設問Ⅱ】 次の2問題のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

年次	Ⅱ-1	Ⅱ-2
H19	産業構造化の変化等により、人口減少傾向にある地域における社会資本整備の課題を挙げ、厳しい財政の制約の下で、地域の活性化を図っていくための社会資本整備のあり方について、具体策を示しあなたの意見を述べよ。	我が国の技術の発展を支えてきた“団塊の世代”の多くの技術者が、定年退職により実務の第一線から退く事態を迎えている。そのような経験豊富な技術者の大量退職が、社会資本を整備するための技術に与える影響と課題について多面的に述べ、それを踏まえて、今後技術を維持継承するための方策についてあなたの意見を述べよ。
H20	社会資本の維持管理に関する現状と課題を述べ、これに対する対策としてのアセットマネジメントの必要性及びその実用化に向けた方策についてあなたの意見を述べよ。	我が国の公共事業は、近年、縮小傾向にあるが、このような状況が、建設分野における技術力の維持及び向上に与える影響とその課題を挙げ、今後とるべき方策についてあなたの意見を述べよ。
H21	地球温暖化を緩和するための低炭素社会について、以下の問いに解答せよ。 (1) 低炭素社会の実現に向けて貢献できると考えられる社会資本整備の取り組みを3つ挙げ、それぞれについて概説せよ。 (2) 前項で述べた取り組みを1つ取り上げ、その推進にあたっての課題と解決策についてあなたの意見を述べよ。	建設部門においては、解析・設計から管理に至るまでコンピューターの導入と併せ、技術の高度化・細分化が進展しており、計算結果の妥当性を総合的に判断することが困難となってきた。 このような状況を踏まえ、技術者として解析・設計や数値シミュレーション等の成果の合理性を総合的に判断できる技術力を維持するための課題と、今後とるべき方策についてあなたの意見を述べよ。
H22	我が国の国土は厳しい地形・地質、気象庁の条件下にあることに加えて、近年は社会的状況も大きく変化し、自然災害から国民の安全性や生活を守ることがより一層守られている。建設部門に携わる技術者として、社会的状況の変化に対応して防災あるいは減災対策を行う上での課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。 また、これらの課題に対して、国民の安全や生活を守る観点から今後どのような取組を進めていくべきか、あなたの意見を述べよ。	我が国の建設産業においては、国内の公共事業投資額の減少に伴い、さらなる成長が期待される海外の社会資本整備に対する積極的な取組が求められている。 一方、国際貢献・技術協力の観点から、開発途上国などにおける社会資本整備に対する積極的な取組も求められている。 このような状況の中、建設部門に携わる技術者の視点から、海外での社会資本整備に取り組む上での課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。 また、これらの課題に対して今後とるべき方策について、あなたの意見を述べよ。

年次	II-1	II-2
H23	<p>我が国の社会資本は、戦後の高度経済成長とともに着実に整備され、膨大な量の社会資本ストックが形成されてきた。しかしながら、これらの社会資本は老朽・劣化が進行しつつあり、今後、社会資本の高齢化が急速に進行する事態に直面することになる。</p> <p>また、我が国の経済社会は、人口減少や少子高齢化の進展に加え、厳しい財政状況にあることから、社会資本への投資額が抑えられる状況が続いており、かつてのような右肩上がりの投資を期待することは困難である。</p> <p>建設部門に携わる技術者として、このような我が国の社会資本と経済社会の現状を踏まえ、今後の社会資本整備における課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。</p> <p>また、これらの課題に対してどのように取り組むべきか、あなたの意見を述べよ。</p>	<p>建設産業は、住宅・社会資本の整備だけでなく、その維持・管理や災害対応など多面的な役割を果たすことが期待されているが、近年、建設投資が急激に減少していること、就業者の減少及び高齢化が進行していることなどから産業全体としてかつてないほど厳しい状況に直面している。</p> <p>このような状況下、建設産業の課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。</p> <p>また、建設産業の活力を回復させるため、これらの課題に対しどのように取り組むべきか、あなたの意見を述べよ。</p>
H24	<p>東日本大震災を契機として、あらためて防災・減災のあり方が議論されている。建設部門に携わる技術者として、我が国の防災・減災に向けた社会基盤の整備における課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。また、それらの課題に対して、防災・減災に向けた今後の社会基盤の整備を具体的にどのように進めていくべきか、あなたの意見を述べよ。</p>	<p>地球環境問題への対応として、（1）低炭素社会の実現、（2）自然共生社会の実現・生物多様性の保全、（3）循環型社会の形成が求められている。我が国の最近の社会情勢の変化も踏まえ、地球環境問題に対し、建設分野として取り組むべき課題を上記3つの視点からそれぞれ挙げ、その内容を説明せよ。また、前期のそれぞれの課題に対して、解決に向けたあなたの意見を述べよ。</p>